

日現



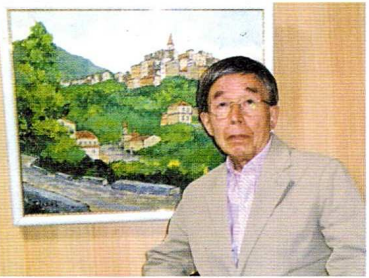
日現

(北東部誠二会長自筆)

<http://nichigenkai.hp.infoseek.co.jp/>

制作あれこれ

常任理事 石井 東二



数年来、知人でスペイン在住の画家F氏の車で友人の画家とフランス・スペインの山岳都市を巡る旅を続けた。今年の第54回堺美協展・第34回日

現展にその風景スケッチの中から「山稜のモノメント」と題して油彩画20号・100号を出品した。国境の山稜に点在する小さな村々は、中世の面影を残していて絵心を誘う。家業の機織り染め加工にデザイン感覚をとの父の勧めで、金澤美術工芸大学、商業デザイン科に進学、卒業後広告代理店に就職、ミラノ、パリ、バルセロナなどの見本市に参加した。帰路、世界遺産の多くを目的して生涯のテーマとなった。学生時代から、美術団体展に出品、一時教職にあった事から野口良兼氏を介して平成元年より日現展に出品、又その縁で書を笹倉美好氏に師事、書道展にも出品を続けている。抽象・具象を問わず静物、風景とモチーフは有意転変。又スケッチ画を基に油性ペンで草案し、細身のペインティングナイフで油彩具を掬いカンバスに厚く塗り込む技法。

先日シンガーソングライターO氏がTVで語っていた。「見るべき程の事をば見つ・平家物語」に感あり。さて次なる画境を拓こうか。

自戒を含めて

常任理事 木村 文隆



小中学校での図画しか経験のないわたしが油彩に手を出したのは40才と同時でした。数多いコンプレックスのひとつでも何とかならぬか、そんな気持ちで始めました。絵の具の色や性格、混色などすべてがわたしにとって実験でした。この実験は今も続いています。ハウツーものが、絵を画こうという本来の動機を満足させてはくれません。

そんな中、一冊の本が知人から送られて来ました。ロバート・ヘンライ著のアート・スピリット、絵に対する情熱が惜しげもなく語られていて深い感動を覚えました。もちろん読んで分かるということ、読んだ当人の理解能力範囲内のことです。それでも珠玉のような内容が詰まっています。ひとつだけ紹介します。



ギャラリートークの様子

見るといふこと、本人はちゃんと見ていると思っても実は見えていない。見たつもりになっただけで、このことは形態にせよ色彩にせよ総てに当てはまると。これは人

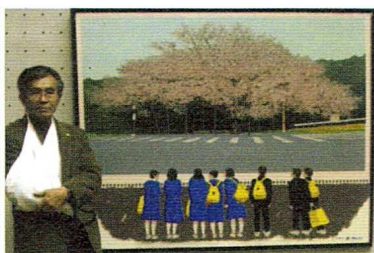
間の眼の焦点深度が浅いことも関係するかも知れません。また彼は次のように言っています。
「難しいのは表現することよりも見ることである。そして対象への興味。人物についてならどうしても伝えたいことがあるという欲求、また風景ならその風景から得た感動と自然な雰囲気。それが表現出来ていなかったら何の意味もなくなる・・・」と。厳しく優しい指摘です。

「たまに絵」と「いい絵」 第三十四回展の審査を通して

常任理事 南場 兄一

審査会は屋良審査委員長の挨拶からスタートする。それは期待と緊張と不安の入り混じった審査会場の雰囲気。和らげる貴重な役割を果たす。

はたして、審査会場に次から次へと作品が運び込まれると審査員の手が拳がり評価を得て受賞が確定する作品もあればそうでない作品もある。さほどに厳しい審査の現実に対峙しなくてはならない審査員の立場は辛い。しかし「いい絵」にまず出合う特権を与えられた審査員はまた幸せ者だともいえる。



自作品の前の南場常任理事

私は「うまい絵」より「いい絵」を評価したい。それは「うまい絵」はその技術を評価されるだけで終わるが、「いい絵」はその作者のテーマを背景にして作者と

鑑賞者の対話が始まり広がっていくからだ。いわば「いい絵」はその作者の生きた証の絵であり体温を蓄えた温かい絵だ。

私は第三十四回展の搬入が迫った時期に右手首を骨折した。利き手の怪我だか慌てることもなかった。従前のテーマ「出合った身近な物や人を絵日記のように描く」に従い、ひたすら彩色を施す作業に徹すればよかったのだから・・・。そうして『散る桜 残る桜も 散る桜』ができた。

「うまい絵」と「いい絵」、この二つを念頭において審査会に臨んだ一日であった。

受賞者 クローズアップ

日現大賞



玉城 昭政
(評議員)



日現大賞「サンゴの中マタチ」

玉城昭政画

受賞作品について制作秘話は？

日現会入会前描き続けた珊瑚の絵は一時は休み、風景にと描きつ、十数年ぶりに珊瑚の海シリーズを描き、此の度の受賞のお知らせを受けびっくり。夢にも思いませんでした。恐縮しております。ありがとうございます。これもひとえに会員の皆様の温かい励ましとご指導のお陰と深く感謝いたしております。

これからの制作の方向性は？

今後は又風景と静物画の作品を描いて皆様に見ていただきたいと思えます。大賞を受け一層の精進を重ね皆様のご期待に添えるよう一生懸命努力いたしていきたいと思えます。今後共ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

読売新聞社賞



中山 善晴
(評議員)

日現会との出会いは？

此の度第三十四回展にて読売新聞社賞を頂き光栄に思います。六十歳頃から老後の楽しみに絵を始めました。当初は油彩でしたが後に水彩画教室へ通い始め絵の楽しさや難しさも味わい、その頃日現展へ誘われて出品させて頂き今に至っております。

制作に心掛けている事。そしてこれからの方向性は？

制作に心掛けている事は質感と遠近感、特に空気感に気を付けていますが満足できる絵は少ないです。今回の絵

はモデルもなくアイデアを考え乍らの作業で今迄とは違う苦労がありました。このテーマを選んだのは最近の新聞で見る児童虐待の記事に日頃から心を痛めておりましたので、子どもの気持ち「苦痛・恐怖心・圧迫感」を現しましたが荷が重く描ききれませんでした。最近病院通いも忙しく体と気持ちがマッチしなくなりました。今後の方向性は未定です。世の中の弱者から目を逸らさず筆が持てる間は頑張つて描きたいと思えますのでご指導よろしくお願い申し上げます。

関西・大阪21世紀協会賞



岡本 福代
(会員)

影響を受けた作家は？

早川義孝、叙情派の画家で心の温まる画風に魅せられる。表現のあり方として心象を表現出来る事。これが原点と教えられているような気がします。楽しい夢のある画風は私を絵画の世界へ引き込んだと言っても過言ではありません。

これからの制作の方向性は？

基本を大切に勉強して来ましたが心のどこかで自分らしい絵を描く事を望んでいました。色々と迷いながら自己表現を試して来ました。今回の作品は自分へのチャレンジでした。この度、栄誉ある賞を賜わり感動の上感謝で一杯です。これからの進むべき道がやっと見えて来たように思います。これからも「アンチーム」な絵を追求して行きたいと思えます。

第三十四回日現展入賞者

日現大賞	玉城昭政
内閣総理大臣賞	河合福三
外務大臣賞	島中邑
文部科学大臣賞	斎藤誠
厚生労働大臣賞	知念盛一
農林水産大臣賞	川端泰代
衆議院議長賞	木村典子
参議院議長賞	高田満
大阪府知事賞	伊山実
大阪府知事賞	江上和子
大阪府知事賞	小谷由佳子
大阪市立美術館長奨励賞	杉田由子
大阪市賞	吉川節子
堺市長賞	鈴木敏子
堺市長賞	寺嶋幸恵
大阪府教育委員会賞	乾康江
大阪府教育委員会賞	小原紀子
大阪府教育委員会賞	金城信子
大阪府教育委員会賞	藤丸康子
関西・大阪21世紀協会賞	岡本福代
三原繁賞	崔明美
堀充彰賞	亀本恵美
読売新聞社賞	中山善晴
読売テレビ株式会社賞	松原幸枝
ホルベイン工業賞	塚田洋子
ホルベイン工業賞	石増瑠
大阪画材賞	奥山ゆか
大阪画材賞	南場優

賞候補に残った出品者

嘉門まゆみ、原野百合子、森田美幸、吉岡勢津子、石崎登、松田利男

東京で花開く！ 日現選抜東京展

会長 北東部 誠二

千代田区有楽町東京交通会館に六月十四日より総括主任下岡副会長をはじめ大阪より駆け付けた委員と、



向かって右から北東部会長と島中東京支部長

早朝より準備に努めておられた島中東京支部長以下東京支部の全員が顔を揃えた。東京と

大阪の同人が一つの目的に向かったの一体感に一段と絆を深めた事は想定外の成果であった。さて陳列も終わった展覧会場で吾に振り返りじっくりと見渡した。最大で二十号とは申せなかなかの存在感の有る作品群であると自負した次第です。作家の自主性を尊重した本会の主旨が有楽町で再確認する事が出来た事は小生にとっても大きな成果でもあった。さらに搬入、陳列、梱包、搬出に携わった本部より派遣された方々の熱意は今後の創作に必ず表われる事と思われまふ。最後にになりましたが会期中会場に常駐頂きお心遣い下さった小沼理事に感謝申し上げ東京選抜展の御報告と致します。

東京支部長 島中 邑

此の度の選抜展は東京支部からお願いした訳ではありません。すべて

本部にお任せ、あくまでもお手伝いという形で了解しました。

東京支部会員七名、平均年齢76.2才、全員女性、みんな年を忘れ楽しい一週間でした。搬入、展示予定通り、十二時開館。立派な会場になりました。いい作中も沢山ありました。45点これもきれいに会場の壁に並べられました。芳名簿も一冊終わって二冊目。素晴らしい!!大盛会です。東京支部頑張りました。お陰様でみんな若返りました。

選抜展に協力出品して下さいました会員の皆様、又お手伝い下さった方々有難うございました。



ギャラリーの展示風景



講習会風景

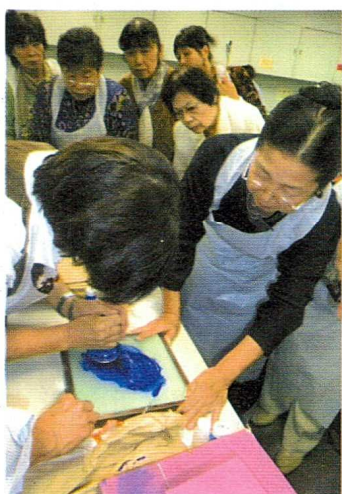
秋の講座

「絵具を作る」

「現存する全ての種類の絵具は色の粉すなわち顔料を基とする」。テンペラ、水彩、油彩、アクリル、パステル、クレヨン、フレスコはもちろん日本画の岩絵具も細かさの違いはあっても顔料から作られているというホルベイン工業株小杉部長の講話に三十一名の受講者は興味深く聞き入った。平成二十六年九月三十日ナンバ学習センターでの研修会。そして後半はテンペラ絵具を作るという貴重な初体験の作業に移り、その困難さを実感した。レオナルド・ダ・ビ

ンチが壁画を描くその横で弟子達がその日使う絵具を作るといふ状況の中で制作された名画の数々。現代に生きる我々はいつでも画材店で高品質な絵具を手に入れる事が出来る幸せを痛感した講習会であった。

「田川 記」



絵具を作る

グループ紹介

柏原グループ

代表 藤田 恵子

グループの誕生は三十余年前に溯ります。木彫や陶芸に堪能な方々が今は故人の先生の下、水彩画を学ばれた事に発します。以来地域の仲間も加わり夜の公民館で熱心に描き他地域の出品者も共に常任の先生の指導を受けました。日現会の成長期の頃だったのでしよう。

さて、現在は当初からの人を含め十二名です。活動は輪番での世話係が年間行事の計画や実施の中心として勤めます。月に一回の研修は各人の絵画への意欲を高め仲間と共に成長する大切な場です。本展やグループ展に出品する機会があることは時には苦しみ、壁を乗り越えての完成です。作品を前に嬉嬉とする人、今年も描けたと感慨深い人等々。思いは違いますがグループの中で活動できることは有意義です。今後もそれぞれの個性を生かし味わい深い作品を描きたいと念じています。



表彰式会場での皆さん

平成二十七年実地された個展・支部展

和泉グループ展	(代)小谷由佳子	平成二十六年 十月九日～十四日	泉大津市織編館ギャラリー
下岡美智子絵画展		十月二十八日～十一月二日	アートのスペース上三条
北河内グループ展	(化)木村文隆	十二月十二日～十七日	枚方市民ギャラリー
アール・コンポレ	(代)齋藤 誠	平成二十七年 二月二十四日～三月一日	茶臼山画廊
グループ絵画展		四月二十八日～五月三日	西脇市岡之山美術館
山田貴裕個展		六月十四日～二十日	東京交通会館
日現会选择東京展	(代)北東部誠二	六月十七日～二十三日	大丸心齋橋店美術画廊
永田登志子個展		八月十九日～二十三日	あべのベルタギャラリー
柏原グループ展	(代)藤田 恵子		

夢が叶った大丸百貨店での個展

会員 永田 登志子

十数年前に両親と百貨店の画廊で油絵の個展を

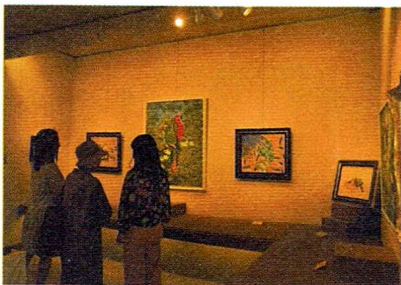


会場での永田さん

観た時「どうすれば百貨店で個展が出来るようになるのかなあ? 凄い事だよ。私も百貨店で個展をしたいを夢に絵を描くわ」と話していた事を覚えています。一本の電話があり「大丸で個展を開催しましょう」と。私は信じられない思いでお話を伺いました。

平成26年8月20日から26日大丸神戸店7階アートギャラリーで個展を開催する事が出来た。不安で一杯でしたが個展初日ギャラリーには30点程の作品が展示され、エスカレーターのある横の壁にポスターがあり個展の案内がアナウンスされているのを聞いて涙が溢れてきました。両親が会場に訪れた時、夢が叶ったと改めて喜びを感じました。そして沢山の方が足を運んで下さり感謝の念に堪えません。それも日現展に出品させて頂き会員推挙、

展を開催する事が出来ました。不安で一杯でしたが個展初日ギャラリーには30点程の作品が展示され、エスカレーターのある横の壁にポスターがあり個展の案内がアナウンスされているのを聞いて涙が溢れてきました。両親が会場に訪れた時、夢が叶ったと改めて喜びを感じました。そして沢山の方が足を運んで下さり感謝の念に堪えません。それも日現展に出品させて頂き会員推挙、



ギャラリーの様子

新常任理事就任ご挨拶



山田 武(沖繩)
日現会にお世話になり三十年近くになりました。此の度常任理事の推挙を頂きました。身に余る光栄です。先生方の教えを頂きながら頑張っていくと思えます。



小谷 由佳子(大阪)
日現と出合って十七年、これから先常任理事として日現発展のため、共に高度な作品を目指し、人と人とのつながりを大切に人材育成の為、全力でお手伝いさせていただきます。宜しくお願い致します。

日現会二〇一五年運営スタッフ

- | | |
|-----|-------|
| 会長 | 北東部誠二 |
| 副会長 | 屋良 朝春 |
| 副会長 | 加藤 芳雄 |
| 副会長 | 下岡美智子 |
| 副会長 | 屋良 朝春 |
| 副会長 | 島中 邑 |
| 副会長 | 石井 東二 |
| 副会長 | 藤田 恵子 |
| 副会長 | 加藤 芳雄 |
| 副会長 | 河合 福三 |
| 副会長 | 太田 操子 |
| 副会長 | 田川 茂子 |
| 副会長 | 楠井 喬 |
| 副会長 | 斎藤 誠 |
| 副会長 | 大川 浩市 |
| 副会長 | 南場 兄一 |
| 副会長 | 小谷由佳子 |
| 副会長 | 文隆 武 |

あしがき

前号は、八月の配布に間に合わず同人の皆様には五ヶ月後のお届けとなり、その反省を踏まえて担当全員で作業速度アップに努めました。

(T)